

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で



# 学校だより

## 6月号

横浜市立谷本小学校  
令和4年5月31日

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>



## 「どんな天気もいい天気」

校長 高橋 哲雄

これは、以前宿泊体験学習の引率で訪れたネイチャープログラムのインストラクターから教えていただいた言葉です。自然は、四季、時間帯、天候で様々な表情を見せてくれます。晴れには晴れの、雨には雨の、その時にしか味わうことのできない良さがあります。また、農業など仕事によっては、晴ればかりではなく、雨が降って欲しいこともあるはず。その日の体調によっても違ってきます。「いい天気」とは人それぞれです。これから梅雨の時期に入ります。梅雨であっても、鬱陶しいけれど、生活のための大切な水資源だったり、植物が育つのに恵みの雨だったりするのでないと困ります。物事を前向きに受け取ることで、気持ちも行動も変わってくるのではないのでしょうか。

さて、先月は、3年生がこどもの国遠足、6年生が国会見学と校外での学習を実施しました。今月は、4年生、5年生の宿泊体験学習を実施する予定です。特に4年生の実施は3年ぶりとなります。遠足・集団宿泊的行事のねらいは、「自然の中での集団宿泊的活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積む」（「学習指導要領」より）ことです。国立青少年教育振興機構の調査報告によると、自然体験や生活体験が豊かな子どもほど自律的行動習慣が身についていく子どもが多く、自己肯定感も高くなっているという結果も示されています。子どもたちにとっては他では得難い大切な体験をする機会となります。

宿泊体験学習では、親元を離れ、自分のことは自分でする、互いに気づいたことは声をかけあって協力をするという生活になります。便利な世の中で育った子どもたちにとって、この単純なことが意外と難しく、また、そうであるからこそ重要な学びがあると考えています。自然の中で、「どんな天気もいい天気」と物事を前向きにとらえながら、様々な体験をしていきたいと考えています。そしてその体験を通して、子どもたちが一回り成長して帰ってくることを楽しみにしています。

まだまだ感染症が収束していない状況です。実施に当たってはガイドラインに従って、しっかりと感染症対策を行います。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしく願います。